

福岡県 宗像市 ～企業版ふるさと納税寄附募集プロジェクト～

ずっと住みたいまちの実現に向けて

「多様な人財とともに成長する」プロジェクト

【プロジェクトの背景】

- ・人口減少と高齢化が進み、担い手の不足が様々な分野で見込まれます。
- ・宗像にも同様の傾向があり、地域を支える人々は「ずっと住みたいまち」の実現には必要です。

【人財確保・人財育成の取り組み】

- ・宗像市は令和7年度から始まる第3次総合計画において、宗像に関わる市民はもちろん、宗像に関わる全ての人を大切にするまちづくり、多様な主体と連携して取り組むまちづくりを掲げております。
- ・事業者の磨き上げ、人財確保と定着の支援などを通じ事業者の成長を促進します。
- ・子どもたちに、都市部と同様にキャリアを体験する機会を提供し、子どもたちに将来を考えるきっかけを提供します。



住み慣れたまちで、安心して快適に暮らすために。

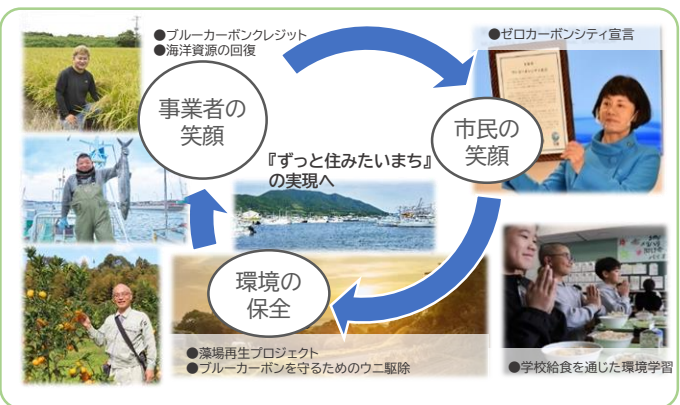
「世界遺産の海と自然を次世代につなぐ」プロジェクト

【プロジェクトの背景】

- ・脱炭素を達成するためには、CO2の排出量削減と吸収量の増加が必要です。
- ・増えてしまったCO2とCO2が引き起こす温暖化対策も重要です。

【環境保全の取り組み】

宗像ではこれまでも環境保全に取り組んできました。さらに活動を加速するために企業の皆さまと一緒に世界遺産の海を次世代につないでいきます。



【寄附金を使って行う取り組みの事例】

- ・地域の人財を発掘し、働き手と介護や保育など様々な事業者をつなぎます。
- ・子どもたちに体験や、教育の機会を提供し、成長を支援します。
- ・移住者を呼び込むとともに、市内外の企業と連携し人財育成を支援します



事業費
750万円

●むなかた子ども大学



事業費
520万円

●保育士の人材確保対策



事業費
700万円

●高校生・大学生と連携した取り組み

宗像は政令市へ通う方のベッドタウンとして発展してきました。生活に関連するサービス業、小売業が充実したまちです。このまちで育った子どもたちは市内外で活躍しています。

【その他の取り組み】

- ・産官学連携PFによる社会課題解決事業
- ・国籍によらない交流の場づくり
- ・市内企業でのインターンシッププログラムなど



事業費
1,300万円

●介護・福祉分野の人材確保対策

【寄附金を使って行う取り組みの事例】

- ・環境問題への理解を深めるため、寄附金で支援するプロジェクトを実施します。
- ・自然災害に備えた取り組みも進めています。



事業費
650万円

●藻場再生プロジェクト

海藻はCO2を吸収する能力が高く、ブルーカーボンと呼ばれる資源ですが、温暖化による磯焼けやウニが食べてしまうため、減少しています。藻場を再生するためにウニを駆除したり、海藻を育てる取り組みを行っています。

ウニは駆除するだけではなく、畜養し、有効利用の可能性も探っています。



事業費
650万円

●環境学習

この取り組みの理解者を増やし次世代につなぐため、子ども向け環境学習や企業と連携するコンソーシアム活動も行っています。

夏の熱中症を防ぐとともに、脱炭素活動の啓発につながるクーリングシェルターの設置にも取り組んでいます。



事業費
300万円

●コンソーシアムの開催



事業費
300万円

●クーリングシェルターの設置

宗像市脱炭素サイト



宗像市の取組みにご賛同いただき、「企業版ふるさと納税」によるご支援をよろしくお願いします。

担当:宗像 経営企画課 電話番号:0940-36-1192 E-mail:kikaku@city.munakata.lg.jp